

こっこめ通信 01 2026

「ディープな解説」号

ハ丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

明けましておめでとうございます。2026 年も八丈ビジターセンター・八丈植物公園をよろしくお願いいたします。八丈植物公園は、昨年 10 月に島を直撃した台風 22 号の被害が残り、まだ全面開放に至っていませんが、倒木処理が進み、1 月中には一部を除き開放できる予定です。もうしばらくお待ちください。

さて、今回は「年末にクラフト行事開催」「八丈学講座『ディープな水槽解説』」についてのお話です。

年末にクラフト行事開催

【リースを作ろう】

ビジターセンターのリースといえば、フレッシュグリーンを使った緑のリースが定番です。今年もそのつもりでいましたが、10 月に相次いで襲来した台風の影響で、山々は荒れ果て地形が変わってしまうほどでした。

そんな中、いつものようにきれいな葉っぱを準備するのは難しいと判断し、今年はマツボックリやソテツの実などの木の実や台風で折れてしまった小枝、ビジターセンターのぬり絵やペーパークラフトで大活躍してくれた短くなった色鉛筆をさらに短く切った色鉛筆を使いリースを作りました。グリーンがない分、どうしてもできてしまう隙間を埋めるのに苦労しましたが、みなさん素敵なリースに仕上げてくれました。(M.K.)



【小さなツリーを作ろう】

形がそれぞれ異なるマツボックリを使って、自由に飾り付けていくツリー作りを今年も開催しました。ほとんどが親子での参加で、観光で訪れていた家族を含め、全部で 40 名が参加しました。

悩んで選び抜いたマツボックリに、色付きの実を 1 つ 1 つ飾り付けて、その人だけのオリジナルツリーを作り上げていました。小さな子どもから大人まで、会話を楽しみながら、ゆったりとした時間を楽しんでいました。年末で忙しくなる中、この行事を通して集まる機会ができたり、ちょっとした息抜きにもなっていたらいいのかなと思います。完成したツリーは色々なところに飾って楽しんでくださいね。(K.T.)



「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

八丈学講座「ディープな水槽解説」

12月の八丈学講座は、水槽をさらに楽しんでもらうため普段の解説からさらに深い解説を行う「ディープな水槽解説」でした。開催時間内に水槽前で解説員が待機し、来た方へ解説を行うスタイルです。

前半は普段通りに水槽の前で解説し、後半は水槽上部のライトを外し、さらに蓋を開けて側面からでは見られない生きものを中心に解説しました。参加者からの質問も多く、水槽内に手を入れてその生きものを指し示しながら話げできたので、理解しやすかったかもしれないですね。当日解説した生きものを紹介します。

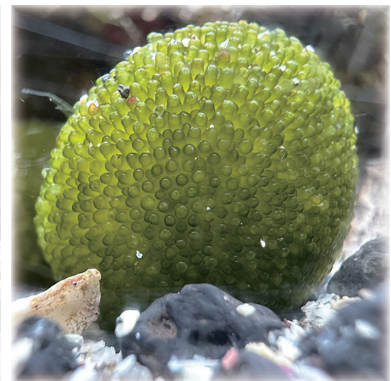
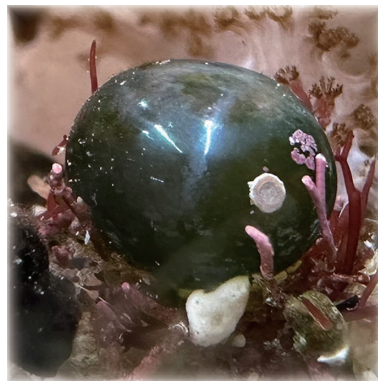
【ツノナシテッポウエビ（写真下左）と巣（写真下右）】

藍藻（シアノバクテリア）を織り込んだトンネル状の巣を作り、その中に棲むツノナシテッポウエビ。「編み物エビ」とも呼ばれ、穴が開くと直ぐに補修を開始します。今回はエビには申し訳ないのですが、巣に大きな穴を空けさせてもらいました。穴を空ける時に、テッポウエビらしくハサミで大きな威嚇音を出しました。音は水槽から離れた場所でも聞こえるほど大きな音で、見ていた人はビックリしていました。エビは第二胸脚を藍藻に突き刺しながら器用に穴を塞いでいきます。その様子も観察してもらいました。水槽の中には大小3つの巣があり、4匹のツノナシテッポウエビが棲んでいます。巣の修復は通常の展示でも見られるので探して見てください。



【タマミルとオオバロニア】

水槽の中でコロコロと転がっている「マリモ」みたいな緑の球状の生きものは？との質問がよくあります。よく見ると水槽の中にはツルツとしたタイプ（写真左）とブツツしたタイプ（写真右）の2種類が入っています。二つとも海藻（緑藻）で左がオオバロニア、右がタマミルになります。両種共に通常は岩などに付着していますが、海が荒れた後には岩から剥がれて水底にコロコロと転がっています。転がっていたものを採取してきたので、水槽の中でも転がっています。オオバロニアは水槽の中で世代交代しているため、岩に付着している小さなものも見られますよ。



他にも、「砂に同化しているムスメウシノシタ」「いつも口に砂を含んでいるアカハチハゼ何をしているのか？」「クモヒトデとヒトデは違うのか？」「一瞬岩の隙間から出てきたハチジョウボウヨウジ」「水槽内で大量発生しているチビナマコから出てきたキュビエ器官」「ハナガササンゴの仲間に紛れるジボガミノウミウシ」「水底から出ている糸のようなものは何？（チンチロフサゴカイ）」「手を近づけると棲管の中に引っ込むホンケヤリ」「水槽の生きもののエサは何？」など、いろいろな解説と質問もありました。

この行事は熱中症対策で外で行事ができない夏にまた実施しますのでお楽しみに！（H.T.）

八丈植物公園季節調査会の報告

今回は風の吹く曇り空の下、参加者2名とともに季節調査を行いました。園内が一部閉鎖されているため、メインエントランスからキョン舎方面へ向かったのち、途中で折り返してビジターセンターに戻るルートとなりました。調査範囲は普段よりも狭くなってしまいましたが、参加者の協力のおかげで67種類の植物を記録することができました。今回はキョン舎までは行くことができなかったため、次回はそのエリア周辺を調査できればと思います。(K.T.)

八丈植物公園季節調査 2025 年 12 月 14 日 (日)、天気：くもり、気温：17.2℃ 調査者：2名 VC：2名

1	ヤブニッケイ	葉に虫こぶ						
2	タコノキ							
3	オオタニワタリ							
4	ニオイウツギ	実残る、実弾ける						
5	ニオイバンマツリ	蕾1つ						
6	オオシマザクラ	新芽						
7	アオノクマタケラン	実	29	タイミンタチバナ	実	シダ植物		
8	アベリア	花	30	タネツケバナ	花	1	イシカグマ	孢子
9	アロウカリア	実生	31	チヂミザサ	花	2	オオイタチシダ	孢子
10	イヌビワ	実	32	ツルグミ	花	3	オニヤブソテツ	孢子
11	イヌホオヅキ	花・実	33	ツルソバ	花	4	カニクサ	
12	ウスベニニガナ	花	34	ツワブキ	花	5	タチクラマゴケ	紅葉
13	オオムラサキシキブ	実	35	トベラ	実	6	タチシノブ	
14	オニタビラコ	花	36	ノジスミレ sp	花	7	タマシダ	
15	ガクアジサイ	実	37	ハイビスカス	花	8	ナチシケシダ	
16	カタバミ	花	38	ハキダメギク	花	9	ノキシノブ	孢子
17	カナリーヤシ	花	39	ハゼノキ	紅葉・花	10	ハチジョウカナワラビ	
18	キダチアロエ	花	40	ハチジョウアザミ	蕾・花・実	11	ハチジョウシダ	
19	キツネノマゴ	花	41	ヒサカキ	蕾	12	ハマハナヤスリ	未熟な孢子葉
20	コミカンソウ	実	42	ヒナギキョウ	実	13	ヒトツバ	
21	シチトウスミレ	蕾・花	43	ヒメユズリハ	雄花・実残る	14	ヘゴシダ	
22	シマクサギ	実残る	44	ヘクソカズラ	実	15	ホシダ	孢子
23	シマモクセイ	花残る	45	ホルトノキ	実残る	16	ホラシノブ	
24	スイカズラ	実	46	メタセコイア	紅葉	17	マツバラソ	
25	ススキ sp	花	47	モッコク	実	18	マメツタ	孢子葉
26	スズメノヤリ	実	48	モンステラ	花・実	19	ヤマイトチシダ	孢子
27	セイヨウタンポポ	ロゼット広がる	49	ヤツデ	花	20	ワラビ	
28	ソテツ	実						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、水槽で見られる「チビナマコ」にスポットを当ててみたいと思います。



チビナマコ

Holothuria (Platyperona) difficilis

クロナマコ科クロナマコ属チビナマコ亜属。

大きさは2～10cm、体は硬く、少し角張った円筒形。体色は濃褐色で光りの加減でオリーブ色にも見えます。八丈島では波の影響が少ない場所の転石下で普通に見られます。(H.T.)

(2020 年 12 月 1 日より、ナマコの採取は法律で禁止されています。)

2026
01ハチビジターセンター
プログラムカレンダー日付の下に書かれている時刻は、ハチ島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
 この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります				1 ガイドウォーク 年始特別行事 「体験八丈太鼓」 冬の特別行事 「こっこめクエスト」 04:30 14:25 09:17 21:46	2 ガイドウォーク 年始特別行事 「体験八丈太鼓」 冬の特別行事 「こっこめクエスト」 05:22 15:19 10:18 22:34	 3 ガイドウォーク 年始特別行事 「体験八丈太鼓」 冬の特別行事 「こっこめクエスト」 06:05 16:10 11:05 23:20
4 ガイドウォーク 冬の特別行事 「こっこめクエスト」 06:44 16:59 11:46	小寒 5 07:18 17:45 00:02 12:24	6 07:49 18:29 00:41 13:02	7 08:15 19:14 01:17 13:41	8 08:37 19:59 01:49 14:23	9 08:58 20:51 02:18 15:11	10 ガイドウォーク 09:20 22:02 02:46 16:10
 11 ガイドウォーク 植物公園季節調査会 09:47 17:25 03:13	12 ガイドウォーク 00:04 10:24 03:46 18:46	13 03:00 11:25 05:03 19:57	14 04:08 12:53 07:37 20:52	15 04:41 14:06 09:14 21:36	16 05:09 14:59 10:04 22:14	17 ガイドウォーク 05:36 15:41 10:18 22:48
18 ガイドウォーク 06:01 16:19 11:08 23:20	 19 06:25 16:56 11:36 23:51	大寒 20 06:49 17:33 12:06	21 07:14 18:13 00:22 12:38	22 07:38 18:55 00:53 13:13	23 08:03 19:41 01:24 13:52	24 ガイドウォーク 八文学講座 「クロアシアホウドリを 観察しよう」 08:27 20:34 01:56 14:37
25 ガイドウォーク 08:52 21:42 02:28 15:31	 26 09:19 23:34 03:00 16:41	27 09:52 18:08 03:35	28 10:49 19:37	29 04:22 12:45 08:16 20:49	30 04:56 14:20 09:50 21:46	31 ガイドウォーク 05:27 15:26 10:34 22:33

イベントプログラム

年始特別行事 「体験八丈太鼓」	八丈島の伝統芸能の一つ、八丈太鼓を体験しましょう。寒い中、思い切り太鼓を叩いて汗をかこう！ 1/1～1/3 (13:30から随時) だれでも参加できます ビジターセンター正面入り口 無料 定員：なし
冬の特別行事 「こっこめクエスト Revival in Winter」	クイズイベントが1年ぶりに帰ってきた！クイズに答えてオリジナル缶バッジをゲット！ 12/27～1/4、(9:00～16:00) だれでも参加できます！ ビジターセンターにて 参加費：無料 ※期間中ひとり1回まで参加できます
植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！ 1/11 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名
八文学講座 「クロアシアホウドリを観察しよう」	毎月行っている八文学講座。大越アロエ園周辺で海上を飛ぶクロアシアホウドリを探します 1/24 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上 大越アロエ園駐車場集合・解散 参加費：50円 定員：10名
植物公園ガイドウォーク	解説員が植物公園内をご案内します。 毎週 土日祝日及び休日、(10:30～ 約1時間) だれでも参加できます。 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

ビデオプログラム

10:00～	八丈・海・生きものたち
11:00～	おじゃりやれ 八丈島
14:00～	おじゃりやれ 八丈島
15:00～	おじゃりやれ 八丈島
16:00～	八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です	

東京都八丈ビジターセンター 2026.1.1 第296号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入場無料)
〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

<https://www.tokyo-park.or.jp/park/hachijo/>

編集後記

2024年4月にリニューアルした展示水槽は、横幅が2.4mになっています。大きくなったことでいろいろな生きものが飼育できるようになり、チビナマコのように水槽内で増えている生きものもいます。コンセプトは「八丈島の海」。まだ見たことのない方は、ぜひ！(H.T.)